

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念の確立が出来ていない。今後どのようにしていくのか、方向性が定まっていない。	理念の構築	○外部評価結果をもとに、会議を開き、確立していく。(外部評価を受けて個人の考えを出し合っている、今後、施設の方向性を含め会議をしている。)	2ヶ月
2	13	防災対策として、防災訓練の実施がなされていない。	避難訓練の実施	○防災訓練計画の策定 ・グループホームでの避難訓練の実施 ・特養(わがの里)避難訓練時の地域防火協力隊との同時実施に向けて	3ヶ月
3	5	身体拘束がある。(脱園防止の施錠がされている)	入居者様の安全を第一としながらも、施錠しない時間を見つけ実施出来るようにする。	○徘徊、不穏者の見守りが出来る体勢の検討(業務内容も変更しながら) ・短時間でも、解錠出来る時間を見つけ出す。(春になってからの入居者様の様子をみながら) ・入居者様の家族への理解と同意の説明をする。	6ヶ月
4	12	重度化や終末期の対応について明確ではない。	重度化への対応について明確化する。	○重度化への対応について、家族からの聞き取りを行い、その後に会議を開きながら検討していく。 ・入居者様の、身体状況の変化に合わせてながら徐々に話し合いを持ち、家族の希望も伺いながら検討していく。	6ヶ月
5					

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。